

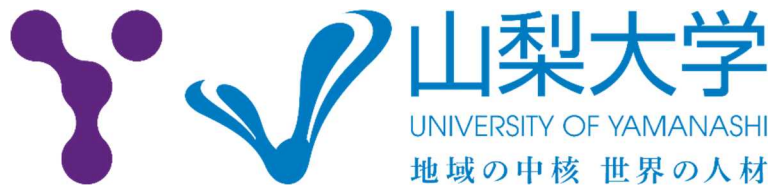
令和 6 年度

# 特 別 選 抜

(私費外国人留学生入試)

# 学 生 募 集 要 項

教育学部・工学部・生命環境学部

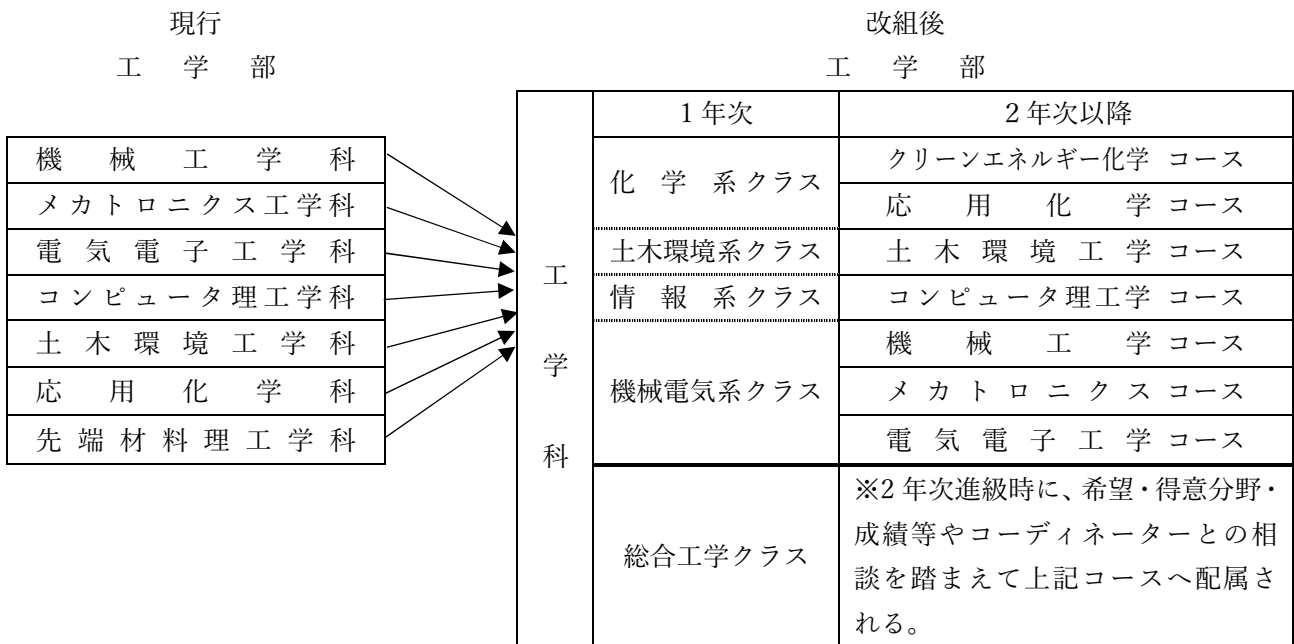


# 工学部の改組について

## 1. 改組計画

山梨大学では令和6年4月に、下記のとおり工学部の改組を行います。

### 改組の概略図



### 募集人員

#### 改組前（令和5年度）

工学部	
機械工学科	55人
メカトロニクス工学科	55人
電気電子工学科	55人
コンピュータ理工学科	55人
土木環境工学科	55人
応用化学科	55人
先端材料理工学科	35人
入学定員合計	365人



#### 改組後（令和6年度）

工学部工学科	
クリーンエネルギー化学コース	33人
応用化学コース	33人
土木環境工学コース	46人
コンピュータ理工学コース	75人
機械工学コース	48人
メカトロニクスコース	45人
電気電子工学コース	45人
総合工学枠	40人
入学定員合計	365人

※コース毎の合格者数が募集人員から増減することがあります。  
最終的に工学科全体で入学定員を確保する方向で調整します。  
※総合工学枠合格者は1年次に総合工学クラスに所属します。  
2年次進級時に希望・得意分野・成績等やコーディネーターとの相談を踏まえて、コースへ配属されます。

## 2. 工学部改組の概要

「地域の中核、世界の人材」という山梨大学キャッチフレーズのもと、工学部では「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」を掲げ人材育成を行ってきました。近年の社会変化は著しく、工学部の人材育成が果たすべき役割も急速に変化しています。例えば、持続可能な開発目標「SDGs」、地方のポテンシャルを引き出し継続的な営みができる社会「地方創生」、IoT やビッグデータ、人工知能等をはじめとする技術革新による新たな社会「Society 5.0」の実現などに向けて、人材育成のポイントも変化・多様化しています。特に、カーボンニュートラルのためのエネルギー問題への取組やデジタル分野への人材輩出は、持続可能な社会を実現するうえでの最重要課題であり、その解決に向けた教育の強化が求められています。

このような背景から、新たな社会へ貢献できる工学系人材を育成するために、令和6年度4月から、大幅な改組を行います。

- 従来の7学科を1学科（工学科）7コースへ再編します。応用化学コース、土木環境工学コース、コンピュータ理工学コース、機械工学コース、メカトロニクスコース、電気電子工学コースのほか、山梨大学が有するクリーンエネルギー分野における燃料電池やエネルギー変換などの国内有数の研究実績を活用した、クリーンエネルギー化学コースを新たに設置します。
- 前述のコースの他に、入学後に進む分野を決定したい、進みたい分野があるが入学後に適性を見極めたい、幅広い工学の知識や技術を学んでから専門の分野に進みたい、というニーズに対応した総合工学クラスを設置します。
- 1年次は合格したコースにより化学系クラス、土木環境系クラス、情報系クラス、機械電気系クラスに分かれ、2年次から合格したコースに所属します。総合工学枠合格者は、1年次は総合工学クラスに所属し、2年次から希望・得意分野・成績等やコーディネーターとの相談を踏まえて配属されるコースに所属します。これにより、進級するに従い基礎から専門に至る体系的な教育を行います。また、転コース等の制度により進路選択を柔軟化します。

## 3. 各コースの概要

### ① クリーンエネルギー化学コース

クリーンエネルギー化学コースでは、持続可能な開発を目指し、環境にやさしく高効率にエネルギーを創製し、利用する技術を有した科学技術者を育成することを目的とし、化学の知識とともに、エネルギー変換の基礎となる電気化学やエネルギー材料に関する講義、実験及び演習を含む専門科目により、クリーンエネルギー化学の知識を体系的に学修します。

本コースでの学修により、エネルギー、製造業、交通・運輸など、関連する産業界等でグリーンイノベーションの創出に貢献する技術者・研究者としての活躍が期待されます。

### ② 応用化学コース

応用化学コースでは、豊かな生活と人類の福祉、持続的発展可能で安心・安全な社会構築を目指し、新しい材料や技術の開発能力を有する化学系技術者を育成することを目的とし、工学系基礎科目である有機化学、無機化学、分析化学、物理化学などの講義や演習、そして応用化学実験に加え、応用科目、特殊科目の科目を履修することにより化学系の専門知識や技術を修得します。

本コースでの学修により、新素材・環境・エネルギー等の分野における技術者・研究者としての活躍が期待されます。

### ③ 土木環境工学コース

土木環境工学コースでは、土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者を育成することを目的とし、専門科目の学修により、自律的かつ継続的学修能力を身に付け、専門分野の基礎的知識を修得し問題解決に対応する能力を養います。

本コースでの学修により、主に社会基盤の整備・充実を担う土木環境分野の企業（総合建設、コンサルタント、道路、鉄道・運輸、電力・ガスなど）や国・自治体（公務員）での活躍が期待されます。

### ④ コンピュータ理工学コース

コンピュータ理工学コースでは、次世代の高度情報化社会の中核として活躍できる学士力を備え、多様な情報処理技術を身に付けた人材を育成することを目的とし、ソフトウェア工学、ソフトウェア開発プロジェクト実習等の科目を通じてソフトウェア開発に必要な問題解決力を修得するとともに、計算機システム、ネットワーク、人工知能等、様々な分野の複数の科目群によって、それぞれの専門知識を体系的に修得します。

本コースでの学修により、情報通信、製造、交通、医療、農業などの様々な分野での活躍が期待されます。

### ⑤ 機械工学コース

機械工学コースでは、機械工学に関わる基礎及び専門知識を修得し、それらをものづくりに活用するとともに自然や社会と調和した技術を創造する能力を備えた人材を育成することを目的とし、材料力学、熱力学、流体力学、機械力学等の専門的知識を修得し、機械工学デザインやものづくり実習、機械工学実験を通じて専門的知識をものづくりに活用する能力を養うとともに、発展的な科目を通じて実践的な問題解決力を身に付け、自律的かつ継続的な学修能力を養います。

本コースでの学修により、機械工学やエネルギー工学に関する最先端の技術が求められる自動車、航空宇宙、医療福祉機器、動力エネルギー分野での活躍が期待されます。

### ⑥ メカトロニクスコース

メカトロニクスコースでは、機械・電気・情報という複数の学問領域を横断的に学び、技術統合されたロボットをはじめとする自動制御システムを構築できる人材を育成することを目的とし、PBLものづくり実践ゼミなどにより問題解決力、コース専門科目（実験・実習科目を含む機械・電気・情報分野の基盤履修科目）により専門知識を修得するとともに、卒業研究などにより自律的かつ継続学修能力を修得します。

本コースでの学修により、主にロボットや医療機器などの技術統合された機械の設計開発、自動車などの輸送用機械や生産用機械などの製造業、電気・情報通信機器などの製造業、情報機器やソフトウェアの開発・運用管理などでの活躍が期待されます。

### ⑦ 電気電子工学コース

電気電子工学コースでは、電気電子工学に関わる基礎及び、電子デバイス、回路・電力、情報通信という専門的な領域の能力を備えた人材を育成することを目的とし、専門科目への導入として、工学部共通で学ぶ工業数学と電気電子工学分野で多用する数学の橋渡しをする基礎科目を学び、電磁気及び電気電子回路分野に係る科目に加え、電子デバイスまたは情報通信システム分野に係る科目をとおり、専門知識を修得します。

本コースでの学修により、新素材、ナノテクノロジー、太陽電池、エネルギー技術、情報通信など主に地球環境や社会との調和に寄与できる分野での活躍が期待されます。

## 4. カリキュラムの特徴

- ・各クラス所属学生（1年次生）を対象に、自然科学、社会や文化等の広い教養を学ぶ『全学共通教育科目』を置くほか、新たに『工学基礎科目部門』を設けます。『工学基礎科目部門』には「工学部共通」と

「クラス共通」の区分があり、工学技術者の土台となる基礎知識（工学部共通）と専門家を養成するための基礎知識（クラス共通）を学ぶことができます。

- ・各コース所属後の学生（2年次生以降）を対象に、コースごとの専門分野を軸とした『工学応用科目部門』を設置します。『工学応用科目部門』では、専門分野ごとに基幹となる科目や発展的な科目により、専門的知識や理解力・判断力を修得することができます。
- ・各コース所属後の学生（2年次生以降）を対象に、『工学特殊科目部門』を設置します。『工学特殊科目部門』では、社会適応力や職業意識を育てる「PBL科目」や、各専門分野においてDX実現に資する能力を養う「データサイエンス系科目」を通して、数理データ分析力・問題解決力や社会的倫理、論理的思考力、創造的思考力・デザインの修得ができます。また、「卒業研究」を通し、創造的思考力の修練ができます。
- ・アクティブラーニングや反転授業によって主体的かつ能動的に学ぶことを可能とし、協調力・コミュニケーション力や、自律的かつ継続的な学修能力を修得できます。

## 5. 改組後の入試の概要

- ・令和6年度入学者選抜試験から、現行の総合型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅱ、一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）、私費外国人留学生入試に加え、新たに「学校推薦型選抜Ⅰ」による募集を行います。
- ・「総合工学枠」を除く全てのコースは、学校推薦型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅱ、一般選抜（前期日程）において募集を行います。（後期日程での募集は行いません。）
- ・総合工学枠は一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）のみの募集となります。
- ・大学入学共通テストを利用する全ての選抜（総合型選抜Ⅱ、一般選抜（前期日程、後期日程））において、新たに「生物」が選択可能となります。なお、「生物」が選択できるのは、あくまで大学入学共通テストの理科においてであり、一般選抜（前期日程）の個別学力検査の理科においては、「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」から1科目群の選択となります（「生物基礎・生物」の選択はできません）。
- ・学校推薦型選抜Ⅰにおいて女性の志願者を対象とした「女子枠」を導入します。女子枠は一般枠との併願が可能です。

## 6. 総合工学枠について

- ・入学後に進む分野を決定したい、進みたい分野があるが入学後に適性を見極めたい、幅広い工学の知識や技術を学んでから専門の分野に進みたい、というニーズに対応した募集枠です。社会と科学技術について学びながら技術者としての自身の適性を考え、工学の学問分野の多様性と工学技術の社会における役割と責任を把握・理解し、社会的課題に対して、既成概念にとらわれず積極的に挑戦していく姿勢や発想、能力を有する技術者の養成を目指しています。
- ・総合工学枠合格者は1年次に総合工学クラスに所属します。2年次進級時に配属コース希望（第1・第2）から、得意分野・成績等やコーディネーターとの相談を踏まえて、第1希望又は第2希望のコースに配属されます。
- ・総合工学枠は一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）のみの募集となります。総合工学クラスで学びたい場合は、各出願時に総合工学枠を選択してください。
- ・一般選抜（後期日程）は総合工学枠のみの募集となります。一般選抜（前期日程）では7つのコースと総合工学枠の計8枠で募集を行います。

## 目次

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）	1
2. 入学者選抜日程	9
3. 募集人員（入学定員）	10
4. 出願資格	11
5. 出願手続	13
6. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	19
7. 受験票	19
8. 選抜方法	20
9. 受験上の注意	23
10. 合格者発表	23
11. 入学手続	25
12. 個人情報の取扱い	25
13. 安全保障輸出管理	25
14. 入学試験における感染症対応	26
15. 甲府キャンパス案内図	29

## 募集要項について

今後の新型コロナウイルス等の感染症拡大状況により、本募集要項の内容とは異なる方法で選抜を実施する場合があります。変更が生じた場合はホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) に最新の情報を掲載しますので、随時確認してください。

表記一覧表 この募集要項では、以下のとおり略語を使用します。

学部名称	
学部	表記
教育学部（学校教育課程）	教育
医学部	医学
工学部	工学
生命環境学部	生命

選抜名称	
選抜区分	表記
一般選抜 前期日程	前期
一般選抜 後期日程	後期
学校推薦型選抜 I	推 I
学校推薦型選抜 II	推 II
総合型選抜 I	総 I
総合型選抜 II	総 II
私費外国人留学生入試	私費

## 1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

山梨大学のアドミッションポリシーは、まず、本学が求める人物像と入学者に求める資質・能力を示し、学部ごと、および学科・コース等ごとに、育成目標、入学者に求める資質・能力、人物像、入学前に学習しておくことが期待される内容、試験区分別の入学者選抜の基本方針を示しています。

そのうち、「育成目標」は、本学のディプロマポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）との一貫性を意識し、入学後にどのような力を発展・向上させるのかを簡潔に示したものです。「入学者に求める資質・能力、人物像」には、入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなどを示しています。「試験区分別の入学者選抜の基本方針」は、入学者選抜において、アドミッションポリシーを具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用するのかなどを説明しています。なお、「入学前に学習しておくことが期待される内容」も学部ごと、および学科・コース等ごとに示していますので、希望する学部、学科・コースに合わせて、高等学校での学習の参考にしてください。

### 理念・目的

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

### キャッチフレーズ

地域の中核、世界の人材

### 教育目標

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見いだし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

### 求める人物像

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質・能力を有する人を求めます。

### 入学者に求める資質・能力

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質・能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

\*ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

---

## (1) 教育学部

### 理念・目的

人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的な知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的としています。

### 育成目標

#### 豊かな人間性と教育文化を創造する教員の養成

本学の入学者受け入れ方針に加え、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教員の養成を目指しています。そのために、協働性や生涯にわたる学びへの意欲と能力を育成し、人間・社会・自然等に関する幅広い教養と教育についての高度な実践力と専門性を持った教員を養成する教育・研究を行います。

## 求める資質・能力・人物像

教育学部では教員を目指す強い意志を持った人を求めています。そのために、以下のような資質・能力を持つ人の受験を期待します。

- 子どもの育ちや学校教育について高い関心を持てる人
- 自ら深く学ぶために課題を見出すことができる人
- 課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- 多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

## 入学前に学習しておくことが期待される内容

本学部における教育は、高等学校等で修得する各科目に関して基礎的な学力を有することを前提に行われます。また、論理的な思考力、自分の考えを適切に表現できる力、コミュニケーション能力、及び各分野への関心や探究心を備えておくことを期待します。各教科・科目においては、広く以下のような内容を心がけて学習しておくことが重要です。

- 国語については、現代文、古文、漢文における基礎的な知識と読解力
- 地理歴史・公民については、履修した各科目における基礎的な知識と社会的思考力
- 数学については、履修した各科目における基礎的な知識と数学的思考力
- 理科については、履修した各科目における基礎的な知識・技能と科学的思考力
- 外国語については、外国語による聞く、読む、話す、書くことに関する基礎的な知識・技能
- 情報については、情報処理または問題解決に関する基礎的な知識・技能
- 家庭については、家庭生活に関する基礎的な知識・技能
- 音楽については、音楽に関する基礎的な知識と表現技能
- 美術については、美術に関する基礎的な知識と造形能力
- 保健体育については、運動と健康に関する基礎的な知識・技能

## 幼小発達教育コース

### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間の生涯発達全般を見通しつつ、幼児期から児童期の子どもの発達と教育について他者とともに学び合い、子どもの思いや願いに寄り添ってその育ちを支える教員の養成を目指しています。人間や社会といった広い視野から、子どもの発達や教育を考えることに関心があり、幼稚園や小学校の教員などを目指す学生を求めています。

### 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 障害児教育コース

### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、高度な教職教養や専門教養を通して障害のある子どものことを深く理解した上で、確かな実践的技術を駆使して、かつ同僚と協働して、熱意および探究心をもちながらその子どもに働きかけることのできる教員の養成を目指しています。子どもの心のメカニズムや障害のある子どもが抱える生活上の困難さ、学校教育のあり方などに強い興味や関心があり、特別支援学校や小学校などの教員を目指す学生を求めています。

### 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 言語教育コース

### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間の思考・表現・コミュニケーションの基盤である言語の教育を担う教員の養成を目指しています。1 年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1 年次後期から「国語教育系」「英語教育系」の 2 つの専門領域に分かれて学びます。「国語教育系」では、日本語、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の国語科や書道の教員を目指す学生を求めています。「英語教育系」では、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解、英語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の英語科の教員を目指す学生を求めています。



## 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

### 生活社会教育コース

#### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間生活とその基盤となる人間社会を創造していくための豊かな教養と実践的指導力を持つ教員の養成を目指しています。1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1年次後期から「社会科教育系」「家政教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。「社会科教育系」では、法学、政治学、社会学、経済学、哲学・倫理学、歴史学、地理学及び社会科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の社会科の教員を目指す学生を求めています。「家政教育系」では、食物学、被服学、住居学、保育学、家庭経営学及び家庭科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の家庭科の教員を目指す学生を求めています。

## 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

### 科学教育コース

#### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、自然科学を理解するための総合的な視野と、理数系の深い専門知識を持った教員の養成を目指しています。1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1年次後期から「数学教育系」「理科教育系」「技術教育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。「数学教育系」では、代数学、幾何学、解析学、確率・統計、数学科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の数学の教員を目指す学生を求めています。「理科教育系」では、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の理科の教員を目指す学生を求めています。「技術教育系」では、木材加工学、金属加工学、機械工学、電気・電子工学、情報工学、農学、技術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校の技術の教員、高等学校の工業の教員を目指す学生を求めています。

## 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

### 芸術身体教育コース

#### 育成目標と求める能力・人物像

本コースでは、人間の根源的な営みともいえる芸術活動と身体活動を通して、芸術文化あるいは心身の発育・発達に関する内容を学びながら、専門的かつ実践的な能力を持った教員の養成を目指しています。1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等を学び、1年次後期から「音楽教育系」「美術教育系」「保健体育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。「音楽教育系」では、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の音楽の教員を目指す学生を求めています。「美術教育系」では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の美術の教員を目指す学生を求めています。「保健体育系」では、体育実技（体操、陸上、球技、水泳など）、体育理論、保健、保健体育科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の保健体育の教員を目指す学生を求めています。

## 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験、実技検査及び出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## (2) 工学部

### 理念・目的

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行います。

### 育成目標

#### 未来世代を思いやるエンジニアリング教育

工学部のキャッチフレーズ「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」を指針とし、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけた人材を養成します。

### 求める資質・能力・人物像

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- 4年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- 工学または各コースで学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
- 工学を学ぶ上で必要となる数学、理科の基礎力を有していること
- 多様な情報を分析し、主体的に判断できること
- 国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- 書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- 国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- 実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

## 工学科

### 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、「日本留学試験」を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力を評価します。これに加えて、出身学校長が発行した「成績証明書」、「TOEFL 又は TOEIC の成績」を基に、数学・理科・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

## クリーンエネルギー化学コース

### 育成目標と求める能力・人物像

人類の持続的な発展のためエネルギーの確保、環境の保全は最重要課題です。本コースでは、環境にやさしく高効率なエネルギー創製、利用に関する専門知識や技術を備えた、この最重要課題の解決に貢献できる技術者・研究者の養成をめざしています。本コースの卒業生は、クリーンエネルギー技術の社会実装実現を担う企業、たとえば自動車メーカー、電気機器メーカー、材料メーカーなど様々な分野において活躍することができます。そのために、次のような人を求めています。

- 化学のなかでも特にエネルギー材料、エネルギー変換・貯蔵技術などのクリーンエネルギー化学に対する強い興味をもつ人
- クリーンエネルギー化学の学問、研究を通じて人類の持続的な発展に寄与する意欲をもつ人
- 理科（特に化学）、数学、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲をもつ人

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解しておく必要があります。クリーンエネルギー化学は化学を基礎として、物理・生物・地学を含めた広い視点から、エネルギーや環境などの諸問題に取り組む分野です。化学全般の内容を深く理解するとともに、理科全般の素養、さらには研究結果の解析に必要な数学、文献の読解やコミュニケーションに必要な国語・英語の基礎学力を備えていることを期待しています。

## 応用化学コース

### 育成目標と求める能力・人物像

応用化学を学んだ技術者は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測などに携わることができます。本コースでは、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高性能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
- 化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

## 土木環境工学コース

### 育成目標と求める能力・人物像

土木環境工学を学んだ技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。本コースでは、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者」の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりに携わりたい人
- 防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。土木環境工学は自然や社会との接点の大きい分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

## コンピュータ理工学コース

### 育成目標と求める能力・人物像

コンピュータ理工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本コースは、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人
- 数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。コンピュータ理工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工系の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

## 機械工学コース

### 育成目標と求める能力・人物像

人間と機械との結びつきを理解し、自然保護と社会の繁栄さらに人類の幸福に貢献できる技術者の育成を目指しています。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへと応用する技術を習得します。そのために、次のような人を求めています。

- 数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
- 実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
- 人と機械とが関わるものづくりに興味のある人
- 独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また、国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

## メカトロニクスコース

### 育成目標と求める能力・人物像

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の3分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本コースでは、これら3分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。またメカトロニクスコースは、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

## 電気電子工学コース

### 育成目標と求める能力・人物像

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本コースは、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発電システム、スマートフォンなどのICT機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してきてください。

### (3) 生命環境学部

#### 理念・目的

自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。

#### 育成目標

##### 自然と社会の共生科学の創生

本学の入学者受け入れ方針に加え、自然と社会の共生科学に基づき、広範な知識を統合し、問題を発見し解決する能力を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、文理融合の視点から生命・食・環境・経営などの諸課題を多角的に分析し、その解決に向けて実践的に取り組むことのできる教育・研究を行います。

#### 求める資質・能力・人物像

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を目指し、次のような資質と能力を持つ人を求めています。

- 高等学校で履修する各教科・科目をまんべんなく学修し、基礎知識を身につけていること
- 自然環境の成り立ちや生物の多様性などを理解するために、理科（物理、化学、生物、地学）や数学、情報など、自然科学や数理学の基礎学力を身につけていること
- 社会の特質や人間としての在り方などについて理解するために、社会科学の基礎となる社会（地理、歴史、公民）の基礎学力を身につけていること
- 文章を読解したり自らの考えを論理的な文章で表現したりするために、国語の基礎学力を身につけていること
- グローバルな問題に取り組むために、必要な基礎的な外国語の能力を有すること
- 実験やフィールド調査を自主的かつ継続的に取り組むことのできる行動力を有すること
- 教員や先輩、友人、留学生等と積極的に対話できるコミュニケーション力を有すること

### 生命工学科

#### 育成目標と求める能力・人物像

バイオインフォマティクス、ナノバイオテクノロジー、ゲノミクスをはじめとする先端バイオを学ぶことにより、食品生産、健康増進、再生医学、バイオエネルギー、環境保全などに関する新しい技術を創出する能力を身につけ、各分野の技術者や研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識を有していること
- 論理的思考力を養うため、数学の素養を身につけていること
- 入学試験で課している科目について、十分な学力を有していること

#### 入学前に学習しておくことが期待される内容

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も期待しています。

#### 試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 地域食物科学科

### 育成目標と求める能力・人物像

果樹や野菜などの農作物の栽培、食品やワインの製造、及びその栄養・有用成分の機能と利用などに関する食物科学や農学の知識・技術を習得し、食料問題の解決に生かせる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 本学科の教育研究の内容を理解するための基礎となる授業科目（生物、化学、物理学、数学等）を十分に理解できていること
- 自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけていること
- 食料生産・利用あるいはワイン製造に関する問題解決に向けて、主体的に粘り強く自己研鑽につとめる熱意と実行力があること
- 本学科で学んだことを活かして地域社会で活躍したいという目的意識と向上心があること

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科学科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

### 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 環境科学科

### 育成目標と求める能力・人物像

豊かな自然環境を次世代に残すために必要な知識や技術を学ぶことによって、自然と共生した持続可能な社会の形成に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、本学および生命環境学部で定めた入学者受入方針に加えて、次のような人を求めています。

- 自然の仕組みや自然と人間との関係に興味があり、それを追究するための知識や方法を深く学ぶ意思のある人
- 環境に関わる学問的課題や社会的課題を自ら見出し、広い視野と深い思考力に基づき、他者と協働しながら課題解決に向けた取り組みができる人

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で履修した数学や情報、物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身につけていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

### 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 地域社会システム学科

### 育成目標と求める能力・人物像

経済・経営・行政に強い関心を持ち、経済・経営・政策に関する社会科学および数学的な見方や考え方を学び、国際的視野をもって、観光や食をはじめとする産業創造等を通し地域社会の持続的な発展に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っている人
- さまざまな学問分野の成果を自ら取り込む真摯な姿勢とこれをさまざまな場面で生かす能力がある人
- 科学的知見に基づき地域社会の繁栄の実現に貢献できる人

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

日常的に新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題へ関心を寄せる習慣を身につけておくことを期待しています。

### 試験区別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

## 2. 入学者選抜日程

選抜区分	私費外国人留学生入試		
実施学部等	教育学部	工学部	生命環境学部
出願期間	12/21(木) } 12/27(水)		
選抜期日	1/19(金)	—	1/20(土)
合格者発表	2/2(金)	2/13(火)	
入学手続	2/14(水) } 2/19(月)		
入学式	4月上旬		

## 3. 募集人員（入学定員）

学部	課程・学科・コース・系		入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜						総合型選抜		私費	合計	
				前期	後期	I	I (女子枠)	I (A)	I (B)	I (C)	II	I	II			
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	120	8	3	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	13	
		障害児教育コース		10	4	-	-	4	-	-	-	-	-	若干	18	
		言語教育コース		7	2	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	13	
		生活社会教育コース		国語教育系	11	3	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	20
				英語教育系			-	-	2	-	-	-	-	-		
		科学教育コース		社会科教育系	14	4	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	26
				家政教育系			-	-	3	1	-	-	-	-		
				数学教育系			-	-	2	-	-	-	-	-		
		芸術身体教育コース		理科教育系	6	4	-	-	2	-	-	-	-	-	若干	18
技術教育系	-		-	3			1	-	-	-	-					
音楽教育系	-		-	2			-	-	-	-	-					
	美術教育系			-	-	2	-	-	-	-	-					
	保健体育系			-	-	4	-	-	-	-	-					
	山梨県小学校教員養成特別教育プログラム			-	-	-	-	-	12	-	-	-	12			
	計	120	56	20	-	-	30	2	12	-	-	-	若干	120		
医学部	医学科	125	-	90	-	-	-	-	-	35 以内	-	-	-	125		
	看護学科	60	30	5	25	-	-	-	-	-	-	-	-	60		
	計	185	30	95	25	-	-	-	-	35 以内	-	-	-	185		
工学部	工学科	クリーンエネルギー化学 コース	365	18	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33	
		応用化学コース		18	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33	
		土木環境工学コース		30	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	46	
		コンピュータ理工学コース		47	-	8	2	-	-	-	-	6	12	若干	75	
		機械工学コース		32	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	48	
		メカトロニクスコース		29	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45	
		電気電子工学コース		29	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45	
		総合工学枠		10	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
	計	365	213	30	48	14	-	-	-	-	30	30	若干	365		
生命環境学部	生命工学科	40	32	5	-	-	-	-	-	-	-	3	若干	40		
	地域食物科学科	37	30	5	-	-	-	-	-	-	-	2	若干	37		
			ワイン科学特別コース	(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)		
	環境科学科	30	22	5	-	-	-	-	-	-	-	3	若干	30		
	地域社会システム学科	48	40	5	-	-	-	-	-	-	-	3	若干	48		
			観光政策科学特別コース	(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)		
	計	155	124	20	-	-	-	-	-	-	11	若干	155			
	合計	825	423	165	73	14	30	2	12	35 以内	30	41	若干	825		

- 各選抜方法による合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に入学定員を確保する方向で調整します。
- 教育学部の学校推薦型選抜 I は、I (A) 教科別推薦入試、I (B) 専門・総合学科推薦入試、I (C) 山梨県の小学校教員志望者推薦入試の3つに区分して実施します。
- 工学部工学科においては、コース毎の合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に工学科全体で入学定員を確保する方向で調整します。
- 生命環境学部の特別コースの人員について、ワイン科学特別コースは地域食物科学科、観光政策科学特別コースは地域社会システム学科の募集人員に含まれ、内訳は目安です。



## 4. 出願資格

- 日本留学試験のうち、本学が指定する教科・科目を受験していない方は出願を受理することはできません。必ず「日本留学試験 本学が指定する科目・得点」(12 ページ)を確認してください。
- 出願できるのは、1 学科・コースのみです。

次の各号の全てに該当する方又は【2024 年 3 月 31 日】までに該当する見込みの方

- (1) 日本国籍を有さない（日本国の永住許可を得ていない）方
- (2) 出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する方  
\* 留学以外の在留資格を有する方は、入学手続後ただちに在留資格の変更手続を行うこと
- (3) 日本学生支援機構が実施する 2023 年度日本留学試験（第 1 回又は第 2 回）のうち、本学が指定する科目を受験し、本学が指定する得点を満たしている方
- (4) 2022 年 1 月以降に TOEFL 又は TOEIC を受験している方
- (5) 次の各項目のいずれかに該当する方
  - ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣が指定した方（12 年に日本の学校教育制度における修学期間を含む場合は、その期間が通算 3 年以内であること）
  - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する方
  - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する方
  - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する方
  - ⑤ グレートブリテン及び北アイルランド連合王国（イギリス）において大学入学資格として認められている GCEA レベル資格を有する方（必要な GCEA レベルにおける科目数・評価は教学支援部入試課に照会すること）

上記(5)①「これに準ずる方で文部科学大臣の指定した方」に該当する方で、あらかじめ出願資格の有無を確認したい方は、以下のとおり申請してください。

- 申請対象者：次の各項目のいずれかに該当する方
  - ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した方と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格し、2024 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する方
  - ② 外国において高等学校に対応する学校の課程を修了した方（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した方を含む）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、2024 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する方
  - ③ 外国において、指定された 11 年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した方
- 申請受付期間：2023 年 12 月 11 日（月）まで
- 申請の詳細については、教学支援部入試課まで照会してください。
  - ①・②に該当する該当する検定に合格した方は、合格証明書及び成績証明書が必要です。
  - ②・③に該当する課程を修了した方は、修了（見込）証明書及び成績証明書が必要です。

\* 日本留学試験 本学が指定する科目・得点

表記	科目名	読・聴（読解・聴読解・聴解） 物（物理） 化（化学） 生（生物） 総（総合科目） 数（数学）
	科目要否	○（必須科目） △（選択科目）

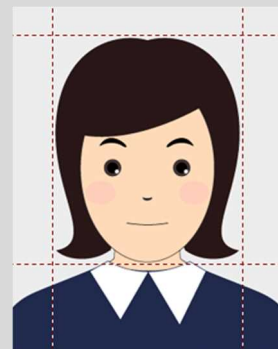
学部	課程・学科・コース	出題言語	日本語		理科			総合科目	数学	
			読・聴	記述	物理	化学	生物		コース1	コース2
教育学部	学校教育課程	日本語	○	○	-	-	-	○	○	-
			合計得点が240点以上	30点以上	・総得点が240点以上、各科目の得点が平均点以上					
	生活社会教育コース	日本語	○	○	△	△	△	△	△	-
			合計得点が240点以上	30点以上	・【理・総・数】から2科目を選択 ・理科を選択する場合は、物・化・生から2科目選択 ・総得点が240点以上、各科目の得点が平均点以上					
	科学教育コース	日本語	○	○	△	△	△	-	-	○
			合計得点が240点以上	30点以上	・理科は物・化・生から2科目選択 ・総得点が240点以上、各科目の得点が平均点以上					
工学部	工学	日本語	○	○	○	○	-	-	-	○
			合計得点が平均点の9割以上	25点以上	【理・数】総得点が各科目平均点の合計の9割以上					
	メカトロニクスコース 電気電子工学コース	日本語	○	○	○	△	△	-	-	○
			合計得点が平均点の9割以上	25点以上	【理】物必須、化・生から1科目選択 【理・数】総得点が各科目平均点の合計の9割以上					
	土木環境工学コース コンピュータ理工学コース	日本語	○	○	△	△	△	-	-	○
			合計得点が平均点の9割以上	25点以上	【理】物・化・生から2科目選択 【理・数】総得点が各科目平均点の合計の9割以上					
生命環境学部	生命工学科	日本語	○	○	△	○	△	-	-	○
			合計得点が240点以上	30点以上	【理】化必須、物・生から1科目選択 【理・数】総得点が240点以上、各科目の得点が平均点以上					
	地域食物科学科 環境科学科	日本語	○	○	△	△	△	-	-	○
			合計得点が240点以上	30点以上	【理】物・化・生から2科目選択 【理・数】総得点が240点以上、各科目の得点が平均点以上					
	地域社会システム学科	日本語	○	○	-	-	-	○	○	-
			合計得点が260点以上	33点以上	【総・数】総得点が260点以上、各科目の得点が平均点以上					

## 5. 出願手続

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 の全てを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

### ① 事前準備 (用意するもの)

- インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等
- PDF ファイルを開くためのアプリケーション (アドビ社の Adobe Acrobat Reader を推奨)
- A4 サイズの印刷が可能なプリンター  
自宅にプリンターがない場合は、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- 「@yamanashi.ac.jp」からの受信が可能なメールアドレス
- 出願書類
- 市販の角形 2 号封筒 (24 cm×33.2 cm)
- 証明写真 (顔写真) データ



(良い顔写真の例)

試験当日の本人確認で利用しますので、明暗以外は無加工の写真を準備してください。

なお、試験時間中に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影した写真を準備してください。

- ・証明写真機 (写真データのダウンロードや取得ができるもの。写真等の保存フォルダに入れてください。) やデジタルカメラ、スマートフォン、タブレットで撮影したもの。
- ・試験日 3 ヶ月以内に単身で撮影したもの。
- ・全体に対する顔の比率は、上下左右が上記の例の点線程度になっているもの。
- ・カラー写真、上半身・正面、無帽、無背景、枠なしであること。
- ・写真サイズは、縦 800px×横 600px 以上 (縦横比 4:3)、3MB 以内であること。
- ・ファイル形式は、JPEG であること。(ファイル拡張子は jpg)

### ② メールアドレスの登録

Web 出願サイト (<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>) にアクセスし、「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにメールが届きますので、本文の案内に従い 30 分以内に次の手順に進んでください。



### ③ 利用者情報の登録 (いつでも登録できます)

画面の案内に従って個人情報を用漢字 (JIS 第 1 水準・第 2 水準) で登録してください。

出願から入学までの間、本学からの通知を志願者本人が確実に受信できる連絡先 (メールアドレス、住所、電話番号等) を登録してください。出願後に変更が生じた場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。

### ④ 出願情報の登録 (出願期間中のみ登録できます)

Web 出願サイト>マイページ>新規出願から、画面の案内に従い登録してください。

### ⑤ 入学検定料の支払い

Web 出願サイト>マイページ>検定料の支払いから、画面の案内に従いお支払いください。

### ⑥ 出願書類の提出

出願書類を作成・印刷し、原則、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で教学支援部入試課へ郵送してください。

## ⑦ 出願の受理

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の発行通知をお待ちください。

### \* 出願に関する留意事項

- 出願内容（Web 出願情報・出願書類等）に不備がある場合は受理しないことがあります。
- 出願内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願内容の変更は認めません。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願書類の返却はできません。

## (1) 出願期間

2023年12月21日(木)～2023年12月27日(水) 16時30分【必着】

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 の全てを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

## (2) 入学検定料の支払い

入学検定料：17,000円

- Web 出願サイトの「検定料の支払い」で、①～④から支払方法を選択しお支払いください。
  - ①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関 ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング
- クレジットカード以外の支払方法は入金確認に2時間程度かかります。  
(入金が確認されないと次の出願書類の印刷に進むことができませんので注意してください。)
- 全ての支払方法において手数料は志願者負担になります。
- 海外からの支払方法はクレジットカードのみです。
- 出願受理後はいかなる理由があっても既納の入学検定料は返還できません。

## \* 入学検定料の免除

- 対象者…… 次の災害に被災された方に対し、入学検定料免除の特別措置を行います。

東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第15号及び第19号、令和2年4月以降に発生した災害救助法の適用となる災害

- 必要書類…… ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>) を確認してください。
- 受付期間…… 出願期間開始日の1ヶ月前～出願期間開始日の前日
- 照会先…… 教学支援部入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 TEL：055-220-8046

## \* 入学検定料の返還

- 対象者…… 出願が受理されなかった方に限り、入学検定料を返還します。
- 請求方法…… 対象者に別途通知します。

## (3) 出願書類

## 出願書類一覧表

◎ 全員提出、○ 一部学科・コース等のみ提出、- 提出不要

学部	卒業(見込)証明書 及び成績証明書	日本留学試験 受験票(写し)	英語外部試験の 成績証明書(写し)	履 歴 書	住 民 票 (海外在住の方は 旅券の写し)	活動実績報告書 ならびに活動実績 報告書証明書類
教育	◎	◎	◎	◎	◎	○
工学	◎	◎	◎	◎	◎	-
生命	◎	◎	◎	◎	◎	-

## 出願期間中に提出する書類

☆の様式は必ず本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) からダウンロードしてください。

出願書類	摘 要 (原則 A4 サイズで提出すること)
卒業(見込)証明書 及び成績証明書 (原本)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出身学校長等が作成した、最終学歴 (高等学校等) の卒業(見込)証明書及び成績証明書の原本を提出すること</li> <li>・原本を提出できない場合 (卒業時に 1 通しか発行してもらえない場合等) は、証明書の写し及び原本を提出できない旨の理由書 (様式任意) を提出すること</li> <li>・英語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳 (様式任意) を添付すること</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 出願資格(5)① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した方</li> <li>・最終卒業高等学校の卒業(見込)証明書及び成績証明書を提出すること</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 出願資格(5)② (国際バカロレア資格) により出願する方</li> <li>・国際バカロレア資格証明書及び成績証明書を提出すること</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 出願資格(5)③ (アビトゥア資格) により出願する方</li> <li>・一般的大学入学資格証明書及び成績証明書を提出すること</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 出願資格(5)④ (バカロレア資格) により出願する方</li> <li>・バカロレア資格証明書及び成績証明書を提出すること</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 出願資格(5)⑤ (GCEA レベル資格) により出願する方</li> <li>・成績証明書を提出すること</li> </ul>
日本留学試験 受験票 (写し)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023 年度日本留学試験 (第 1 回又は第 2 回) の受験票の写し</li> <li>・原本を提出した場合、原本は返却しないので注意すること</li> </ul>
英語外部試験の 成績証明書 (写し)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学が指定する英語外部試験【別表 1】に明記されている提出書類の<u>写し</u> (いずれか 1 つ) を提出すること</li> <li>・2022 年 1 月以降に受験したものかつ結果が出願時に提出できるものに限る</li> <li>・原本を提出した場合、原本は返却しないので注意すること</li> </ul>
☆活動実績報告書 ならびに証明書類	<p>【芸術身体教育コース 体育実技 選択者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成要領に基づき、本学所定の様式により作成すること</li> </ul>
履 歴 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web 出願サイト&gt;マイページ&gt;出願書類印刷から印刷したもの</li> <li>・学歴は、小学校入学から高等学校卒業までを入力すること</li> <li>・日本語の学習歴は、日本語学校の学習歴を入力すること</li> </ul>
住 民 票	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居地の市区町村長が交付する在留資格及び在留期間が記載されたもの</li> <li>・出願時に海外在住の方は、旅券の写し (顔写真のページ) を提出すること</li> </ul>

## 【別表 1】本学が指定する英語外部試験

試験の種類	テストの種類	提出書類 (いずれか 1 つの <u>写し</u> )
TOEFL (ETS)	会場受験 iBT テスト	・ Test Taker Score Report
	自宅受験 iBT テスト (TOEFL iBT Home Edition)	
TOEIC Program (ETS)	Listening & Reading テスト (公開テスト) (Bridge テストを除く)	・ TOEIC 公式認定証 (Official Score Certificate)

### \* 出願書類の作成方法

---

- 作成方法は、自筆・パソコンを問いません。
- 自筆の場合は、ボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、楷書で記入の上、原本（写しは不可）を提出してください。また、訂正する場合は、修正液等の使用や紙面の削り取りはせず、訂正する箇所に二本線を引き訂正印を押してください。
- 文字色は黒色とします。数字は原則算用数字を用いてください。
- 本学所定の様式は必ず該年度の募集要項に掲載されている様式と同じ様式の Word 又は PDF データを使用してください。過年度の様式を使用した場合、再提出をお願いする場合があります。

### (4) 出願書類の提出方法

- ① Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「出願書類等チェックリスト（提出不要）」で、出願書類が全て揃っているか最終確認してください。
- ② Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「封筒貼付票」を市販の角形 2 号封筒に貼付の上、出願書類を封入してください。
- ③ 出願期間内に本学へ到着するよう、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。  
山梨大学教学支援部入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37 TEL：055-220-8046  
Admission Division, University of Yamanashi, 4-4-37 Takeda, Kofu, Yamanashi 400-8510, Japan

### \* 海外在住の方に限り PDF ファイルでの提出を認めます。

---

- ① Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「出願書類等チェックリスト（提出不要）」で、出願書類の PDF ファイルが全て揃っているか最終確認してください。
- ② 出願書類の PDF ファイルを教学支援部入試課へ送信してください。  
(山梨大学教学支援部入試課 [nyushi@yamanashi.ac.jp](mailto:nyushi@yamanashi.ac.jp) TEL：+81-55-220-8046)
- ③ 入学後、本学登校初日から 1 週間以内【厳守】に出願書類の原本を提出してください。
  - ・教 育 学 部 教育学域支援課教務グループ窓口
  - ・工 学 部 工学域支援課教務グループ窓口
  - ・生命環境学部 生命環境学域支援課教務グループ窓口
  - ・受 付 時 間 平日（土・日・祝日を除く） 9:00～12:00・13:00～17:00
- ④ PDF ファイルに改ざん等の虚偽が発覚した場合、入学許可自体を取り消し、除籍処分にする場合があります。

\*Web 出願の注意点（よくある質問）

- ① 「氏名」は、日本語又は半角英字で入力してください。  
外国語等を使用せず、フルネームを入力してください。
- ② 「フリガナ」はカタカナで入力してください。  
カタカナが分からない場合は、半角英字で入力してください。
- ③ 「氏名アルファベット」は半角英字で入力してください。
- ④ 氏名や住所等が入力文字数を超える場合は、履歴書（出願書類）の空白部分に入力できなかった内容を加筆して提出してください。
- ⑤ 「日本国内での連絡先（志願者以外）」は、志願者本人が不在の場合、速やかに本人に連絡をとることができる方（日本語学校の先生、親族、友人等）の連絡先を入力してください。  
海外在住の方で、日本国内の連絡先が無い場合は、志願者の連絡先を入力してください。
- ⑥ 「出願資格（資格試験）」は、大学入学に必要な資格（国際バカロレア資格やアビトゥア資格等）を取得した場合、資格名称・取得年月を入力してください。
- ⑦ 「在留資格」は、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格を入力してください。  
海外在住者は「なし」と入力してください。

(例) ○ 張 又は Zhang  
× 张 (簡体字)

(例) チョウ 又は Zhang

(例) Zhang



## 6. 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

### ① 対象者

病気・負傷や障がい等のある志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方  
(受験上の配慮を必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする方は必ず申請してください。)

### ② 相談方法

受付期間に教学支援部入試課に連絡の上、必要書類を提出してください。

### ③ 必要書類

- 本学所定の「受験上及び修学上の配慮相談申請書」  
様式は本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3794>) からダウンロードし、記入してください。なお、印刷は両面印刷で行ってください。
- 医師の診断書等(病気・負傷や障がい等の状況がわかる文書、写し可)

### ④ 受付期間

出願期間開始日の1ヶ月前～出願期間開始日の前日

### ⑤ 照会先

教学支援部入試課 〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 TEL:055-220-8046

### ⑥ 注意事項

- 日常生活において使用している補聴器・松葉杖・車椅子等の使用を希望する方は、必ず申請してください。
- 相談内容によっては対応に時間を要しますので、できるだけ早い時期に申請してください。
- 本申請時に提出された情報は、受験上及び修学上の配慮を検討するため本学内関係者間で共有される場合がありますので、予めご承知おき願います。
- 必要に応じて、志願者又はその立場を代弁し得る関係者と面談を行う場合があります。
- 受付期間以降に不慮の事故等により受験上及び修学上の配慮が必要となった場合や、申請後に出願又は受験を取り止める場合は、教学支援部入試課へ連絡してください。

## 7. 受験票

本学からの受験票の送付はありません。

受験票はWeb出願サイトから印刷し、試験当日に必ず持参してください。

【印刷可能通知】出願期間終了日から選抜期日の一週間前までに通知

【印刷可能期間】通知の受信日～令和6年3月31日まで

【印刷方法】Web出願サイト>マイページ>受験票から印刷

- 上記期日までにWeb出願サイトから受験票の印刷が可能になった旨をメールで通知します。
- 上記期日を過ぎても受験票が印刷できない場合は、教学支援部入試課へ照会してください。
- 受験票の印刷方法は、白色のA4用紙、倍率100%、カラー印刷とします。
- 受験票にはWeb出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 受験票を紛失・汚損等した場合は、Web出願サイトから再度印刷してください。
- 工学部を受験する場合、来学を伴う試験は実施しませんが、合格発表時の受験番号確認や合格後の入学手続の際に必要となりますので、受験票は必ず印刷してください。

## 8. 選抜方法

### (1) 選抜方法の概要

学部	課程・学科・コース・系		共通テスト	個別学力検査	実技検査等				2段階選抜	備考
					実技	小論文	面接	その他		
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	-	-	-	-	○	*1	-	-
		障害児教育コース	-	-	-	-	○	*1	-	
		言語教育コース	-	-	-	-	○*2	*1	-	
		生活社会教育コース	-	-	-	-	○	*1	-	
		科学教育コース	-	-	-	-	○	*1	-	
		芸術身体教育コース	-	-	○	-	○	*1	-	
工学部	工学科	クリーンエネルギー化学コース	-	-	-	-	-	*1	-	-
		応用化学コース	-	-	-	-	-	*1	-	
		土木環境工学コース	-	-	-	-	-	*1	-	
		コンピュータ理工学コース	-	-	-	-	-	*1	-	
		機械工学コース	-	-	-	-	-	*1	-	
		メカトロニクスコース	-	-	-	-	-	*1	-	
		電気電子工学コース	-	-	-	-	-	*1	-	
生命環境学部	生命工学科		-	-	-	-	○	*1	-	-
	地域食物科学科		-	-	-	-	○	*1	-	
	環境科学科		-	-	-	-	○	*1	-	
	地域社会システム学科		-	-	-	-	○	*1	-	

\*1 日本留学試験、ならびに、TOEFL 又は TOEIC の成績を利用します。

\*2 国語総合・現代文・古典の範囲に関する口述試験 及び 100 語程度の英文の音読とその内容に関する口述試験を含みます。

### (2) 選抜方法・合否判定基準

教育学部	日本留学試験、面接、実技検査（芸術身体教育コースのみ）、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定します。なお、合格ライン上に総得点が同点の者がいる場合は、面接の得点が高い者を上位とします。
工学部	日本留学試験、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定します。ただし、日本留学試験や TOEFL 又は TOEIC の評価が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
生命環境学部	日本留学試験、面接、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC を総合して判定します。総得点が同点の場合は同順位とします。ただし、面接の評価が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。

(3) 選抜期日・場所 及び 検査内容

教育学部

期日：2024年1月19日(金)

場所：山梨大学甲府キャンパス(山梨県甲府市武田4-4-37)

コース	集合時刻	集合場所	検査
幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 生活社会教育コース 科学教育コース	13:00	甲府西キャンパス J号館2階B会議室	面接
芸術身体教育コース	13:00	甲府西キャンパス J号館2階B会議室	実技・面接

\*言語教育コースの面接は、国語総合・現代文・古典に関する口述試験及び英文(100語程度)音読とその内容に関する口述試験を含みます。

\*試験終了時刻は受験者数により変わります。

\*芸術身体教育コースの実技検査内容・注意事項

(実技検査の内容に関する問い合わせには応じられません。)

以下の音楽実技、美術実技、体育実技の中から、出願時にいずれか1つを選択すること。

検査	検査内容・注意事項
音楽実技	下記のA～Dを全て受験すること。 A 旋律聴音 1題(12～16小節) B 新曲視唱 1題(練習時間5分程度) ・移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。 C 任意の声楽曲を1曲演奏(原語で歌うこと。) D 任意のピアノ曲を1曲演奏  (注)・ピアノ伴奏が必要な場合は、伴奏譜を出願時に同封すること。 ・楽譜を見てもよい。繰り返しは省略すること。 ・演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでも良い。
美術実技	造形表現に関する検査：造形表現に関わる120分の実技課題を出題し、発想や構想、技能等を総合的に評価する。 与えられたテーマ(例：希望、憧れ等)を自分なりに解釈し、与えられたモチーフ(例：紙コップ、色紙等)を用いてB3画用ボードに自由に表現する。その際、表現の意図を別紙に文章で記載する。なお、この文章は、文章力を検査するものではなく、与えられたテーマの解釈やそれに基づく画面構成、表現の工夫等の意図をみるためのものである。 ※透明、不透明、アクリル絵の具のいずれかと、鉛筆、消具、筆、筆洗、パレット、筆ふき布など、彩色用具一式を持参すること。なお、B3画用ボードは本学で用意する。
体育実技	「活動実績報告書」の提出をもって実技検査とする。

## 工学部

日本留学試験、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、個別学力検査等は実施しませんので、来学の必要はありません。

## 生命環境学部

期日：2024年1月20日（土）

場所：山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田 4-4-37）

学 科	集合時刻	集合場所	検 査
生 命 工 学 科 地 域 食 物 学 科 環 境 学 科 地 域 社 会 シ ス テ ム 学 科	10:00	甲府西キャンパス S1 号館	面 接

\*試験終了時刻は受験者数により変わります。

## 9. 受験上の注意

- (1) 試験当日は、**本学受験票**、**日本留学試験の受験票（原本）**、鉛筆又はシャープペンシル（芯は HB 又は B の黒色に限る）、消しゴム、（鉛筆使用の場合は）鉛筆削りを必ず持参してください。なお、これらのものを大学で貸出はいたしません。
- (2) 試験前日の 14 時～16 時は試験場の下見を認めます。ただし、下見は建物入口までとし、建物内の下見は認めません。
- (3) 課せられた試験を 1 つでも受験しなかった場合、受験した全試験の成績を無効とします。
- (4) 不正行為\*を行った場合、その場で受験の中止と退室を指示し、受験した全試験の成績を無効とします。
- (5) 受験票に表示された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。
- (6) 遅刻した場合は、集合時刻から 30 分以内に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。  
なお、試験場に向かう途中の事故または公共交通機関の遅延等によるやむを得ない場合はこの限りではありません。やむを得ない事情で遅刻する場合は、集合時刻までに教学支援部入試課（TEL：055-220-8046）に電話してください。
- (7) 自動車による入構はできません。電車・バス等の公共交通機関を利用してください。
- (8) 試験実施が困難になるような不測の事態（地震・大雪等）が発生した場合、ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/9604>）に対応措置等を掲載します。
- (9) 出願後から試験当日までに、連絡事項等をホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>）に掲載する場合がありますので、必ず確認してください。

### \* 不正行為

- Web 登録情報、出願書類、受験票、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（Web 出願サイトに本人以外の顔写真を登録すること、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入すること等）をすること
- Web 出願サイトに顔面や身体部分を明らかに加工した顔写真を登録すること
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること
- 試験時間中に携帯電話や時計等の音を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること
- 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

## 10. 合格者発表

教育

2024 年 2 月 2 日（金） 16 時頃

工学

生命

2024 年 2 月 13 日（火） 16 時頃

- ホームページ（[https://www.yamanashi.ac.jp/examination\\_list](https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list)）に合格者の受験番号を掲示します。
- 合格者に合格通知書（Web 出願サイトに登録された氏名を使用）を送付します。  
なお、海外在住の方へは国際郵便で送付します。
- 大学構内での掲示は行いません。また、電話等による合否の照会には応じません。
- 本学では合否電報の受け付けは一切行っておりません。また、そういった行為を団体・個人に委託することはありません。合否電報に関するトラブル等が発生しても本学では責任を負いません。

## 11. 入学手続

2024年 2月14日(水)～2024年 2月19日(月)

- 期間内に入学手続を完了しなかった方は、入学の意志がなく入学を辞退したものとみなします。
- 入学手続関係書類は、合格通知書とともに送付します。
- 入学時の主な必要経費は次のとおりです。なお、金額は変更することがあります。
  - ・ 入学料 282,000円【予定】
  - ・ 授業料 年額535,800円(前期267,900円・後期267,900円)【予定】
  - ・ 後援会費・同窓会費・学友会費等
  - 教育学部 64,000円(後援会費・同窓会費・学友会費等、4年分)【予定】
  - 工学部 50,000円(後援会費・同窓会費・学友会費等、4年分)【予定】
  - 生命環境学部 48,000円(後援会費・同窓会費・学友会費等、4年分)【予定】
  - ・ 学生保険保険料(学生保険への全員加入を本学の方針としています)
- 入学料・授業料の免除又は徴収猶予については、ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/campuslife/345>)を参照してください。

入学手続後、他大学の合格などにより4月に本学へ入学する意志のない方は、期日までに入学辞退手続をしてください。入学辞退手続をしなかった場合、本学に在籍している状態になるため、授業を受講しなくても4月からの授業料の支払い義務が生じます。詳細は、入学手続関係書類を確認してください。

## 12. 個人情報の取扱い

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人山梨大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤今後の入学者選抜方法検討や志願動向の分析、大学教育の改善に関する調査・研究、⑥合格者に対する入学前教育及び入学前イベントを行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。
- (2) 入学者については、知り得た個人情報を、①教務関係(学籍・修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者(受託業者)において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、受託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- (4) 個人情報及びプライバシー情報保護のため、選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することはありません。

## 13. 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人山梨大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育を受けられない場合や研究ができない場合があります。

## 14. 入学試験における感染症対応

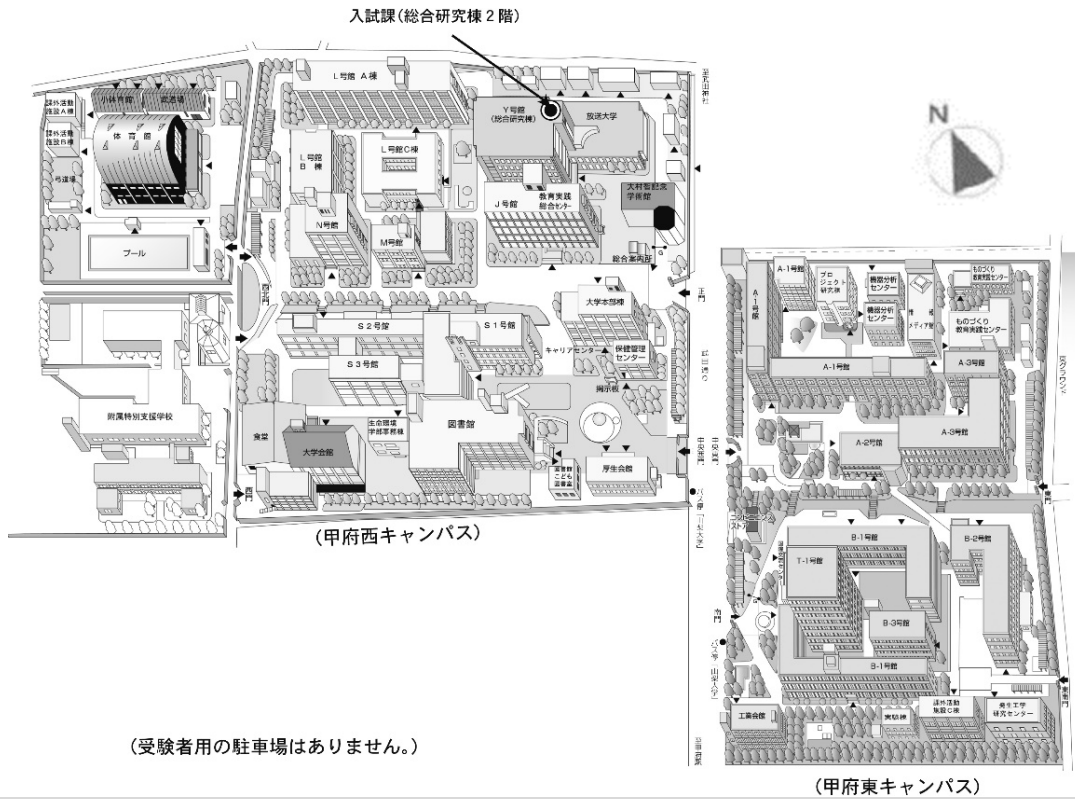
入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘等）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の態勢で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。

なお、この取扱いを変更する場合は、本学ホームページ（[https://www.yamanashi.ac.jp/examination\\_list](https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list)）にてお知らせします。

# 15. 甲府キャンパス案内図

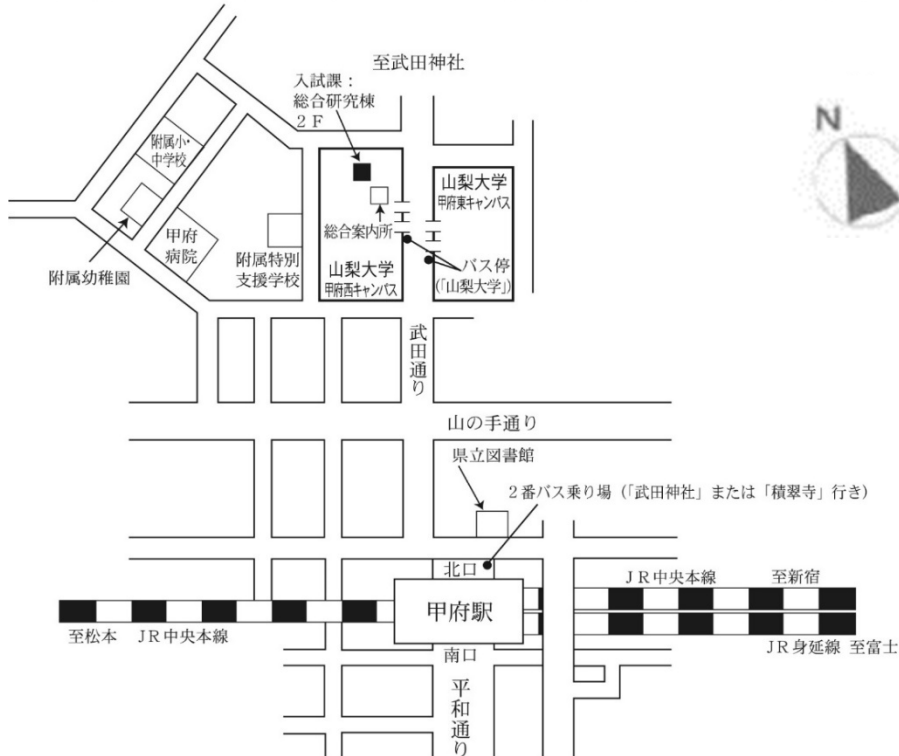
所在地 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

## 甲府キャンパス建物配置図



## 甲府キャンパス周辺図

JR 甲府駅下車、北口から徒歩約 15 分  
 JR 甲府駅下車、北口からバスで約 5 分 (「武田神社」又は「積翠寺」行き) バス停「山梨大学」下車





## 活動実績報告書 作成要領

活動実績報告書は、教育学部の学校教育課程芸術身体教育コースの体育実技を選択する方の実技検査として使用するものです。スポーツ・体育活動歴の有無にかかわらず、志願する方全員が必ず提出してください。

1. 「主な種目名・活動実績名等」欄は、主となる種目名・活動実績名を1つだけ記入してください。
2. 「参加大会名等」欄には、これまで出場した大会の中で、主要な実績の正式名称を記入してください（4つ以内）。ただし、高校に在籍していた間のものに限りです。
3. 「開催地・開催年月」欄には、活動を行った場所・開催年月を記入してください。
4. 「成績・記録・参加状況等」欄には、順位等の成績をできるだけ具体的に記入してください。（「優勝」、「ベスト8」、「2回戦敗退（ベスト32）」、「奨励賞受賞」など）
5. 「学年」欄には、該当する学年を記入してください。（「高校1年」「高校2年」など）
6. 「本人が果たした役割」欄は、ポジション、役割、貢献度（大会等の出場実態：スターティングメンバー、途中交代、リザーブで出場なし等）についてできるだけ具体的に記入してください。
7. 「その他」欄は、特筆すべき活動実績がある場合に記入してください。
8. 活動実績がない場合は、「その他」欄に「活動実績なし」と記入の上、本報告書を提出してください。この場合、原則として活動実績の検査ができませんので注意してください。
9. 自筆、パソコン入力を問いません。文字色は黒とします。
10. 受験番号欄は、大学側で記入します。

(教育学部 私費外国人留学生入試)

受験番号  
※大学側で記入します。

教育学部学校教育課程 芸術身体教育コースの体育実技を選択する方

## 活動実績報告書

フリガナ		生年月日		
氏名		年 月 日		
身長	cm	体重	kg	

主な種目名・活動実績名等					
参加大会名等		開催地・開催年月	成績・記録・参加状況等	学年	本人が果たした役割
1		( 年 月)			
2		( 年 月)			
3		( 年 月)			
4		( 年 月)			
その他					

## 問い合わせ

### 山梨大学 教学支援部 入試課

住所	〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37
TEL / FAX	055-220-8046 / 055-220-8795
メール	<a href="mailto:nyushi@yamanashi.ac.jp">nyushi@yamanashi.ac.jp</a>
ホームページ	<a href="https://www.yamanashi.ac.jp">https://www.yamanashi.ac.jp</a>
Web 出願サイト	<a href="https://syutugan.yamanashi.ac.jp">https://syutugan.yamanashi.ac.jp</a>
窓口対応時間	平日(月～金) 8:30～12:00・13:00～17:15 * 土・日・祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く